



®環境省

エコアクション21

認証番号 0000968

第30期（2023年度） 環境経営レポート

対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日



祈りの木 オノ・ヨーコ

株式会社 C P M

発行日 2024年 6月 28日

目次

項目	page
1. 品質方針	2
2. 事業の概要	3
3. 環境経営方針	4
4. エコアクション21推進体制	5
5. SDGsの取組み	6
6. 環境経営活動計画	7
7. 中期環境目標と実績	8
8. 月度別環境目標の達成状況	9~10
9. 環境経営活動取組み結果と評価	11
10. 次年度（2023年度）環境経営計画	12
11. 環境関連法規の遵守状況結果および違反・訴訟の有無	13~14
12. 社会貢献（地域美化活動）	15
13. 事故および緊急事態の想定訓練	15
14. 諸活動の内容	16
15. 問題点の是正処置および予防処置の結果	17
16. 代表者による全体評価	18

1. 品質方針

【企業理念】 技術を品質、人を信頼でつなぎ、
新しい価値の創造と持続的成長の道を拓く

【品質方針】 品質第一とし、顧客満足最大化を目指す

【品質目標】 顧客クレーム“0”

【行動指針】

- 1 私たちはものづくり企業として、供給する全ての製品品質を保証します。
- 2 私たちは品質第一主義に則り、提供する製品、サービスの品質はもとよりあらゆる仕事の質を高める努力を続けます。
- 3 私たちは顧客期待の満足最大化を図るため、新しい価値の創造にチャレンジし続けます。

【経営者のコミットメント】

- 1 社員に「顧客からの要望の実現」、「法規制の遵守」の重要性を伝えます。
- 2 要求事項を実現する為、社内ルール、法規制を守りQMSの有効性を継続的に改善します。
- 3 品質目標を設定し実績の対比をして適切な見直しを行います。
- 4 マネジメントレビューを実施します。
- 5 必要な人的資源、設備機器を確保し利用出来る様にします。

改定日 2023年4月21日

制定日 2014年4月01日

株式会社CPM 代表取締役社長

忠地 俊明

2. 事業の概要

1	事業者名	株式会社CPM 代表取締役社長 忠地 俊明 URL: https://www.cpm-inc.co.jp	
2	所在地	本社	長野県松本市村井町南 2-10-44 TEL 0263(85)0567 FAX 0263(85)0568
		波田事業所	長野県松本市波田1909番地38 TEL 0263(87)3730 FAX 0263(87)3731
3	環境管理責任者	品質保証部 忠地 俊明 (兼任) 連絡先は上記2所在地 本社に同じ	
4	事業規模	資本金	2000万円
		従業員数	31名
		延床面積	2,651.2㎡
		事業年度	4月～3月
5	事業内容	医療機器要素部品組立および金属部品、樹脂部品の製造販売 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器向けの部品製造およびユニット組立 ・ 車載電装部品の製造および販売 ・ 光学機器向けの部品製造およびユニット組立 ・ ヘッダー部品 ・ ダイカスト部品 ・ 精密切削部品 ・ ねじ類その他JIS規格品 	
6	会社沿革	1992年 株式会社コールドパーツ 松本営業所設立 1994年 分社独立 株式会社シーピーエム設立 2002年 ISO9001取得 2006年 エコアクション21取得 2006年 社名変更 株式会社CPM 2016年 波田事業所開設	

本社



波田事業所



3. 環境経営方針

【基本理念】

私たちは、社会と環境に調和した生産活動を通して、自然環境との永続的な共生を図り、豊かで安心できる環境の実現を目指します。

【行動指針】

私たちは、環境保全を経営の最重要課題のひとつとして取り組み、生産、販売、事務、アフターサービスなど事業活動の全ての過程において以下の指針の下に行動します。

1. 環境法令の遵守

私たちは、国、地域の産業公害防止に関する規制をはじめとする環境法令、環境維持のため締結された協定を、正しく理解し遵守します。

2. 資源の節約と有効利用

私たちは、二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減、総排水量削減に努め、環境に配慮した取り組みによりエネルギーの節約を進め、地球温暖化防止への責任を果たします。

3. グリーン購入の推進及び情報提供

私たちは、環境に配慮した物品等の調達に係る方針、基準等を作成し、それらに基づく購入を行います。また当社販売品に関し、外部から製品の環境負荷に関するデータの提供依頼があった場合、情報提供に協力します。

4. 化学物質の適正管理と顧客要求の遵守

私たちは、地球環境に悪影響を及ぼす物質の使用削減や有害化学物質の使用廃止を図り、また環境に関する顧客要求を遵守し、確実な推進と規格の維持に努めます。

5. 教育と社会活動

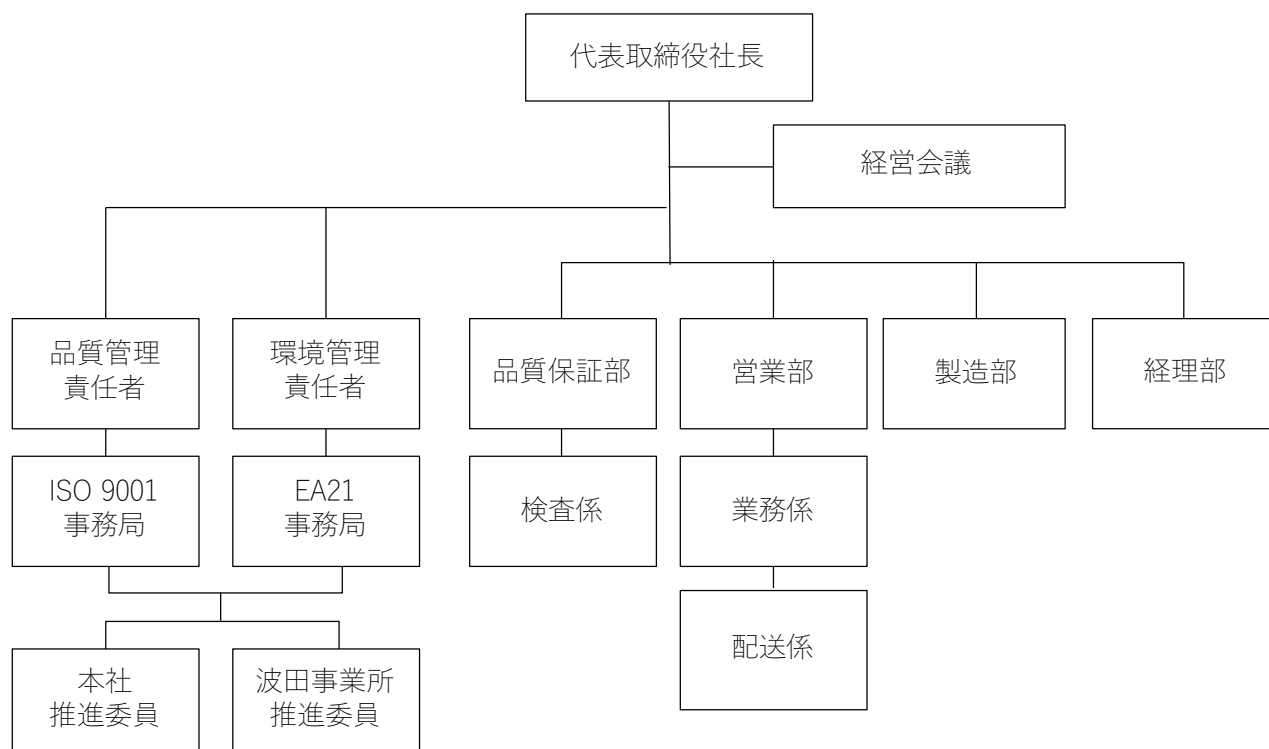
私たちは、業務での環境負荷の軽減に活かすため、環境保全に関する知識を習得し、また環境に関わる社会活動に積極的に参加します。

6. 環境マネジメントシステムの整備と継続的改善

私たちは、社内基準の遵守に努め、その活動内容と結果を「環境経営レポート」として社外に公表し、環境経営の継続的改善を推進します

改訂日 2019年 7月18日
制定日 2014年 4月1日

4. エコアクション21推進体制



組織	主な役割・責任および権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社のEMS（エコアクション21）の有効性に説明責任を負う ・ 当社の環境経営方針を策定し、組織の状況および戦略的な方向性と両立することを確実にする ・ 当社のEMSに必要な資源が利用可能であることを確実にする ・ 当社のEMSがその意図した成果を達成することを確実にする ・ 当社のEMSの有効性に寄与するよう人々を積極的に参加させ、指揮し支援する ・ 当社のEMSの改善を促進する ・ 環境に関する顧客要求を遵守することを確実にする
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社のEMSがエコアクション21のガイドラインに適合することを確実にする ・ 当社のEMSのパフォーマンス、改善の機会をトップマネジメントに報告する ・ トップマネジメントによる「代表者による全体評価と見直し・指示」による指示事項の実施 ・ 環境活動計画の立案 ・ 環境関連法規の改訂含む最新情報を取得し、不遵守にならないことを確実にする ・ 環境経営レポートの作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境マニュアル及び環境に関する手順ならびに環境関連法規の遵守 ・ 環境活動計画に基づいた環境活動および環境改善の推進

5. SDGsの取組み

EA21は、地球規模の課題に対する「総合的な環境経営」のためのマネジメントシステム。プロセスを通じ、財務諸表に現れない企業の強み、実力をアピールするとともに、戦略的経営の基盤をなすもの。地球温暖化に限らず、水資源、廃棄物、循環資源などにも視野を広げた総合的な取り組み。



地球規模の課題



環境経営のためのマネジメントシステム

管理体制

教育
法令遵守
公正誠実な事業活動

環境活動

環境保全



経済活動

企業価値の創造



社会活動

社会の公器



6. 環境経営活動計画

環境活動計画	CPMのSDGs活動
1. CO ₂ 排出量の削減適正 温調管理 エコドライブの徹底	
2. 可燃ごみ排出量の削減紙資源 のリサイクル推進	
3. 上水道使用量の削減 前年度と同じ使用量を維持 節水の呼びかけと注意喚起の継続	
4. グリーン購入の推進 エコマーク商品の購入継続	
5. 不良ロス・不良コスト 各種ツールによるプロセス監視	
6. 5S・3定活動 拠点間クロスパトロールの実施	
7. 化学物質の適正管理環境 エビデンス確認 使用禁止物質の不使用証明書、ミルシート、SDS IMDS、 chemSHERPA、環境調査ツールの適正運用	
8. 地域美化活動による社会貢献会社周 辺、神社の清掃活動 地域組織との連携活動	

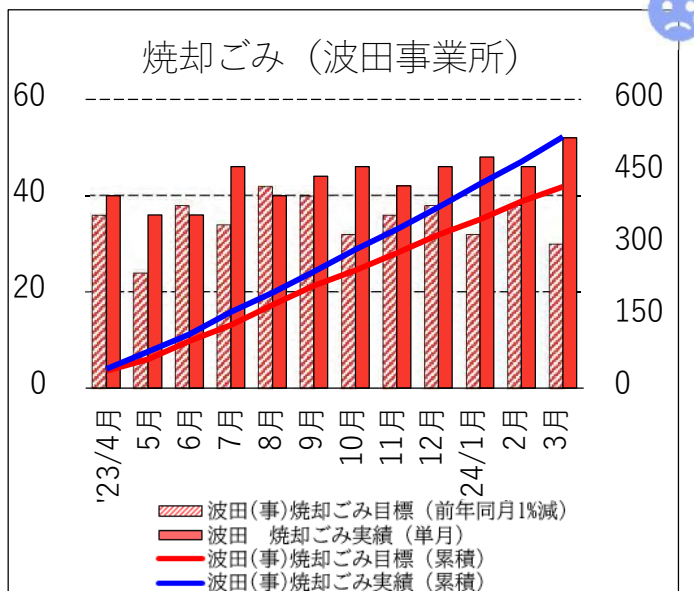
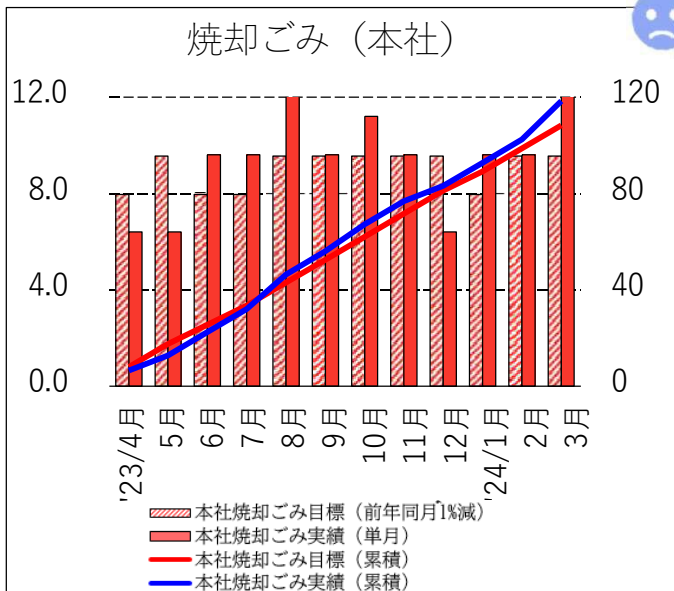
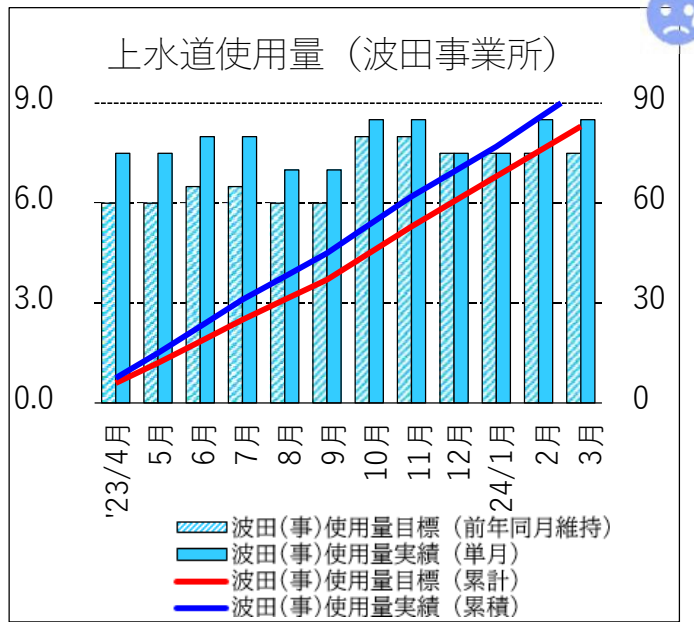
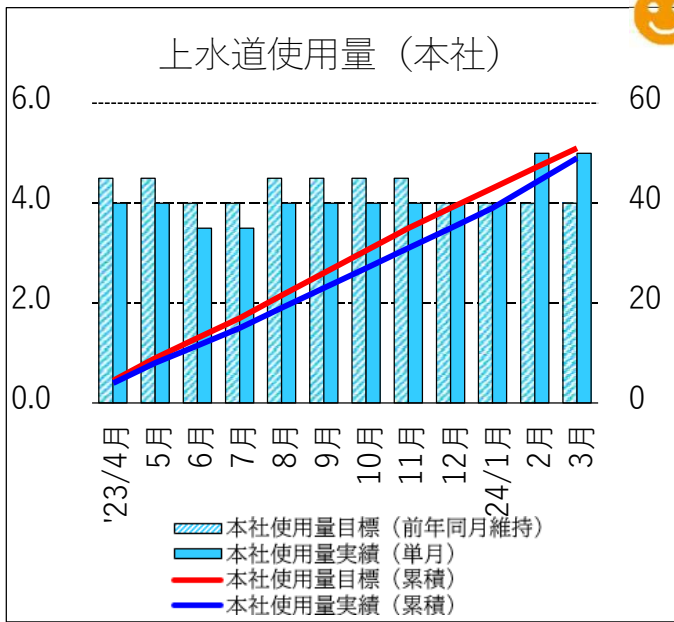
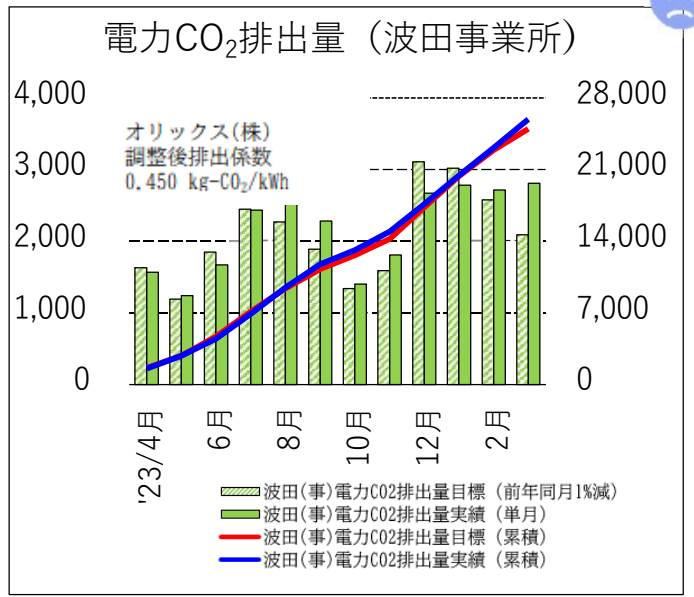
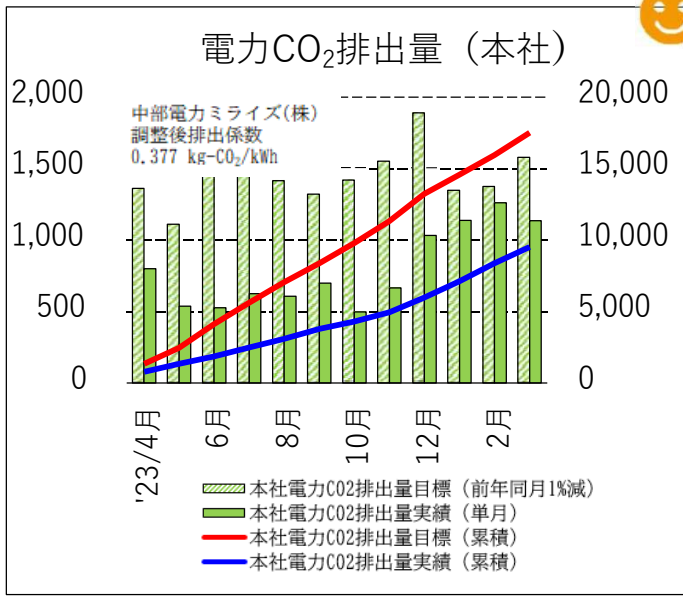
7.1 環境負荷の実績 2023年

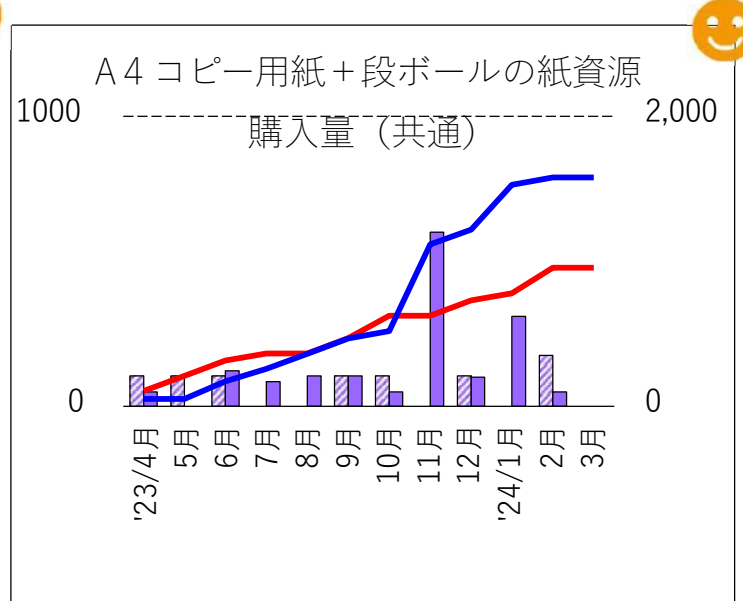
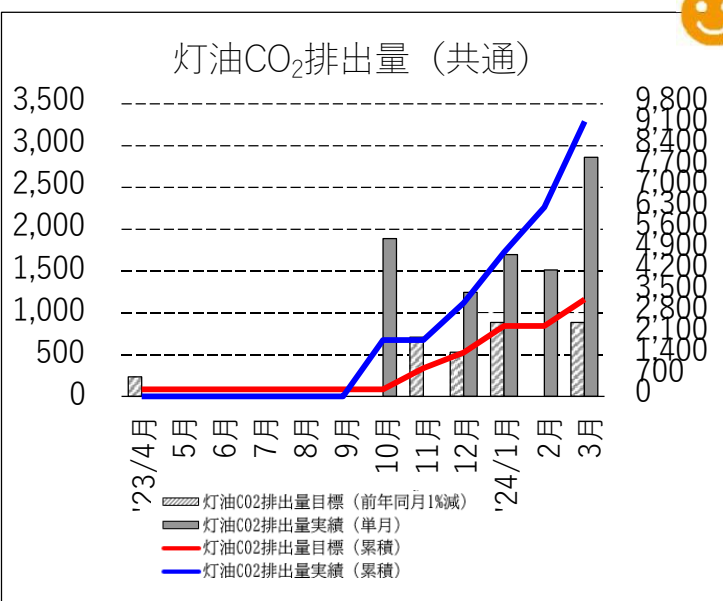
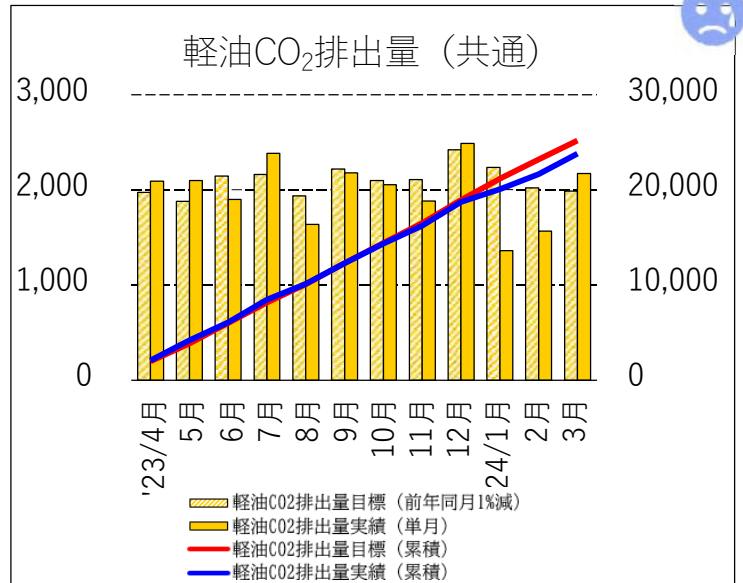
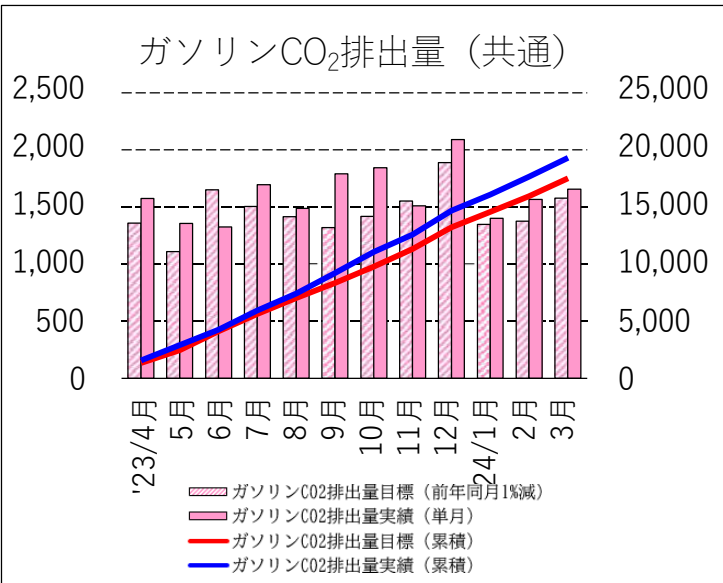
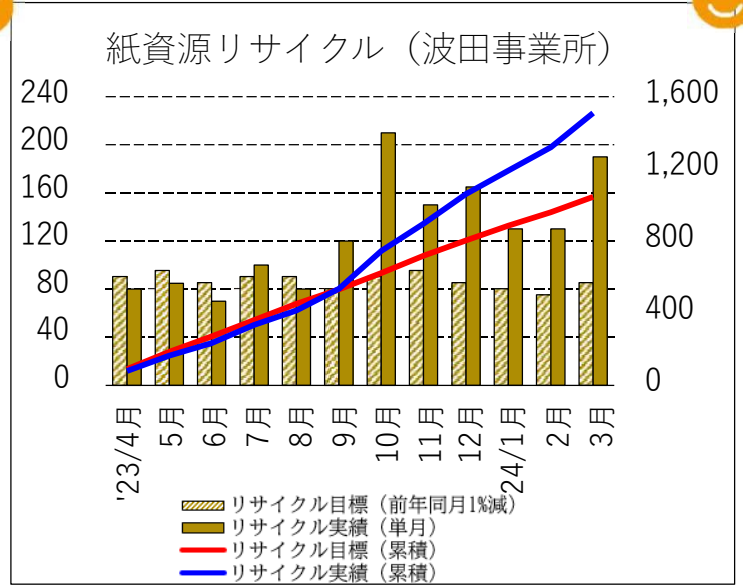
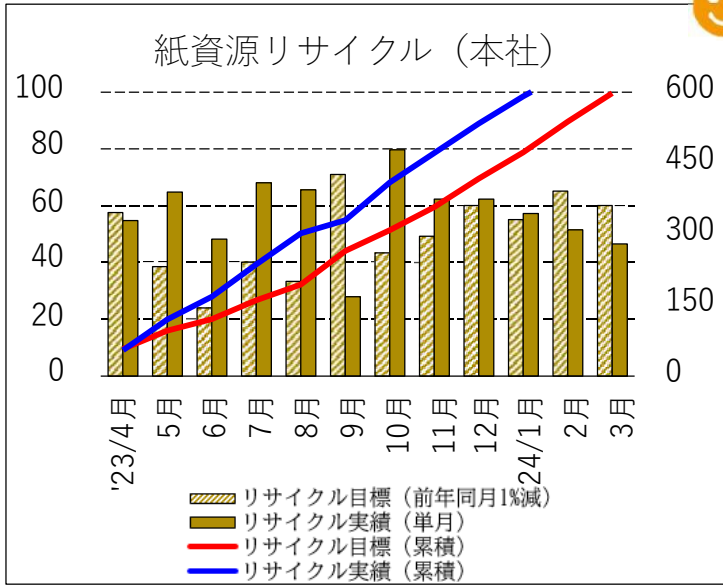
環境負荷	使用量	単位
電力	35,438	kg-CO ₂
ガソリン	17,604	kg-CO ₂
軽油	25,311	kg-CO ₂
灯油	8,135	kg-CO ₂
可燃ごみ	2,743	kg
上水道	49	m ³

7.2 中期環境経営目標と実績（一覽表）

				基準年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目		
				2017	2018	2019	2020	2021	2022年	2023年		
環境負荷削減	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /百万円	目標	—	172.1	170.4	168.6	166.9	165.2	163.4		😊
			実績	173.8	173.2	210.7	175.9	148.6	134.9	141.3		
	電力	kg-CO ₂ /百万円	目標	—	71.1	70.4	69.6	68.9	68.2	67.5		😊
			実績	71.8	72.0	85.0	76.5	64.6	55.8	57.9		
	ガソリン	kg-CO ₂ /百万円	目標	—	37.9	37.5	37.2	36.8	36.4	36		😊
			実績	38.3	40.5	48.5	31.7	29.3	27.3	28.7		
	軽油	kg-CO ₂ /百万円	目標	—	44.9	44.5	44.0	43.6	43.1	42.7		😊
			実績	45.4	48.8	54.5	48.9	35.1	39.2	41.4		
	灯油	kg-CO ₂ /百万円	目標	—	18.1	17.9	17.8	17.6	17.4	17.2		😊
			実績	18.3	11.9	22.7	18.8	19.5	12.6	13.3		
	総量	kg-CO ₂	目標	—	103608	102562	101515	100468	99422	98375		😊
			実績	104655	102033	98408	87043	91580	87111	86501		
	Web会議CO ₂ 削減	%	目標	—	—	—	—	0.85	0.86	—		—
			実績	—	—	—	0.84	3.19	2.37	—		
可燃ごみ排出量	kg/百万円	目標	—	1.20	1.19	1.18	1.17	1.16	1.13		😊	
		実績	1.22	1.00	1.26	1.17	0.87	0.82	1.04			
上水道使用量	m ³ /百万円	目標	—	0.21	0.21	0.21	0.20	0.20	0.2		😞	
		実績	0.21	0.21	0.26	0.24	0.19	0.26	0.23			
グリーン購入の推進			実績	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		😊
不良ロス・不良コスト削減（クレーム件数）			実績	10件	13件	11件	8件	12件	6件	3件		😊
環境法規制遵守			実績	環境事故ゼロ、環境不具合ゼロ、環境調査励行								
地域貢献	美化活動		実績	拠点別清掃	全社員による三神社周辺清掃		拠点別清掃	拠点別清掃	拠点別清掃	実施の有無		😊
	・会社周辺の清掃 ・神社の清掃		目標	—	2.43	2.46	2.48	2.50	2.53	有り		
			実績	2.41	2.69	3.69	3.28	2.58	2.53			

8. 月度別環境目標の達成状況





9. 環境経営活動取組み結果と評価

2023年度 of 取組み結果	評価	2024年度への反映
1. CO ₂ 排出量削減 ・ 本社達成 ・ 波田(事)はほぼ目標値 ・ パフォーマンス良好	○	・ 現状維持
2. 可燃ごみ排出量削減 ・ 本社、波田(事)ともに目標未達	○	・ 紙資源のリサイクル促進
3. 上水道使用量削減 ・ 本社達成 ・ 波田(事)未達	—	・ 現状維持
4. グリーン購入の推進 ・ 不適合なし	○	・ 現状維持
5. Fコスト ・ クレーム件数4件	○	・ クレーム件数2件
6. 5S・3定活動 ・ 活動成果掲示中 ・ パフォーマンス良好	○	・ 現状維持
7. 化学物質の適正管理 ・ 環境事故0件 ・ 化学物質管理の遵守	○	・ 現状維持
8. 地域貢献 ・ 地域清掃活動 ・ 地域組織との活動連携	○	・ 現状維持

10. 次年度(24年度)環境経営活動計画

	項目		目標・活動内容	
			次年度目標	活動内容
環境 負 荷 削 減	CO ₂ 排出量 削減		売上換算 前年度1%削減	適正温調管理 エコドライブ 各種労働生産性向上施策
	可燃ごみ 削減		売上換算 前年度1%削減	ごみ減量 各種労働生産性向上施策
	紙資源 リサイクル		(目標値廃止)	監視のみ
	上水道使用 量削減		売上換算 使用量維持	現状維持
	グリーン 購入		エコマーク商品の購入	現状維持
不 良 削 減	F コスト 削減		クレーム件数2件 (50%減)	FMEA水平展開 工程パトロール強化
			5S・3定活動	自走化継続
遵 法	法規制遵守		環境事故ゼロ	環境エビデンス活動
	化学物質の 適正管理		環境調査	環境ツール活動
地 域 貢 献	美化活動		地域清掃活動	神社の清掃
	社会福祉法 人連携		地域連携活動	金属資源リサイクル PET資源リサイクル 紙資源リサイクル
災 害	対応能力 構築		事業継続力強化認定取得 代替生産能力、在庫能力	BCP見直し 復旧期間圧縮ほか
教 育	脱炭素リス キリング		GX検定合格	教育体制構築 ツール導入

11. 環境関連法規の遵守状況結果および訟等の有無

法律条例名/	該当要求事項	対応事項	対象品・施設	遵守評価
環境基本法	汚水、廃棄物等の処理 その他の公害を防止	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理 ・環境負荷の低減 	事業活動全般	2024/03/31 不遵守なし
	環境への負荷低減、 環境保全に努め、 国や地方公共団体に協力			
騒音規制法	規制基準の遵守	コンプレッサ定格出力 (規制法) 7.5kw以上	本社 コンプレッサ2.2kw	2024/03/31 異常なし
	松本市公害防止条例	(市条例) 1.5kw以上 但し、届出および騒音 測定義務なし		
廃掃法 廃棄物の処理及 び清掃に関する 法律	廃棄物置場の保管基準の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の抑制 ・廃棄物の適正な処理 	金属スクラップ 廃棄金型	2024/03/31 不遵守なし
	廃棄物処理業者との 産廃物委託契約締結			
	産廃物マニフェストの 交付、回収、保管			
自動車 リサイクル法	使用済み自動車の引取 業者への引渡し	<ul style="list-style-type: none"> ・廃車の引渡し ・リサイクル費用納付 	社有車	2024/03/31 3台 不遵守なし
	リサイクル費用の資金 管理法人への委託			
消防法	危険物の貯蔵所、 取扱所の届け出	防火対象物の使用 開始届(条例48条)	本社 波田事業所	2024/03/31 不遵守なし
	危険物の貯蔵、取扱施設の 構造、基準遵守			
	危険物取扱者の監督下 における取扱いほか			
フロン排出 抑制法	フロン類の使用の 合理化及び管理の適正化	簡易点検実施要項 <ul style="list-style-type: none"> ・頻度:3ヶ月ごと ・対象:室外機点検 ・項目:異常振動,異常音, 油じみ,腐食,錆 	ビル用 マルチエアコン	2024/03/31 簡易点検実施 異常なし
	フロン類を使用してい る製品については、 排出しない管理する			
	フロン排出抑制法に 基づく簡易点検			

法律条例名	該当要求事項	対応事項	対象品・施設	遵守評価
RoHS指令	欧州連合（EU）において、2006年7月1日より施行された、電気・電子製品での特定有害物質使用を制限する指令。電気・電子製品に含まれる鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDEの6種類の物質の使用が制限されている	顧客各社との指令遵守のための取り決めと調査方法および製品登録の方法を定めた契約による	当該指令の遵守義務を有する顧客各社と契約によって取引される全アイテムが該当する	2024/03/31 不遵守なし
ELV指令	廃自動車に関する指令。自動車廃棄物を削減し、自動車に関わる産業の環境負荷を軽減することを目的とする。自動車メーカーならびに材料、装置メーカーは、設計段階からリユース・リサイクルを念頭に置くことを奨励。また、各メーカーが2003年7月1日以降に上市する製品については、例外品目を除いて、鉛、水銀、カドミウム、六価クロムの含有を禁止している	顧客各社との指令遵守のための取り決めと調査方法および製品登録の方法を定めた契約による	当該指令の遵守義務を有する顧客各社と契約によって取引される全アイテムが該当する	2024/03/31 不遵守なし
REACH指令	REACH規則とは、化学物質の登録・評価・認可・制限に関するEU法。人々の健康や環境保護、欧州の科学産業競争力の維持向上を目的にしている	顧客各社との指令遵守のための取り決めと調査方法および製品登録の方法を定めた契約による	当該指令の遵守義務を有する顧客各社と契約によって取引される全アイテムが該当する	2024/03/31 不遵守なし
コンゴ産紛争鉱物	コンゴ民主共和国およびその周辺国の紛争地域で、紛争の資金源となっている鉱物とその派生物。（コロンバイト・タンタライト、錫石、金、鉄マンガン重石、及びそれらの派生物としてのタンタル、スズ、タングステン）	顧客各社との取り決めと調査方法および製品登録の方法を定めた契約による	該当物質調査の義務を有する顧客各社と契約によって取引される全アイテムが該当する	2024/03/31 不遵守なし

12. 社会貢献（地域美化活動）

活動テーマ 波田三神社周辺と市道の清掃を通じて地域ならびに社会環境へ貢献する

実施日 / 参加人数 2023年5月2日(水) / 23名



13. 緊急事態訓練

訓練日時	2024年03月11 ((月)) 9:00~11:00	
訓練内容	松本市シェイクアウト訓練への参加 東日本大震災などを教訓に、地震発災時における自らの身の安全確保を 目的とした「自主参加型一斉防災訓練」に参加	
訓練参加者	32名	

本社



波田事業所



14. 諸活動の内容

長野県SDGs推進企業登録証



健康経営優良法人認定証



社員の子育て応援宣言登録証



品質管理検定 (QC検定) 合格証



会を実施しています。

掲示板とコミュニケーション



ISU、EAZI、SDGS、5S・3定活動、女性情報などを共有、社内コミュニケーションを図ります。

15. 問題点の是正および予防処置の結果

ガイドライン要求事項		現状の取組み内容	是正および 予防処置
1	対象組織・活動の 明確化	対象組織は会社全体、 全社員での取り組み	特記事項なし
2	環境方針の策定	環境方針継続	特記事項なし
3	負荷・取組状況 把握および評価	負荷項目は経理情報などによりパソコン 入力し、定期的に自己負荷チェックや取 組自己チェックにより確認している	特記事項なし
4	環境関連法規制の 取りまとめ	弊社が関連する法規制を一覧表にまとめ 遵守状況や改正がないか確認しており、 法改正などについては日頃から情報収集 に努めている	特記事項なし
5	環境目標及び計画 の策定	中期計画達成状況の確認	特記事項なし
6	実施体制の構築	実施体制は環境責任者を軸に 各メンバーが行う	特記事項なし
7	教育・訓練の実施	環境に関する情報は朝会や定例朝礼を通 じて連絡	特記事項なし
8	環境コミュニケー ションの実施	外部からの苦情は、代表者に報告、対応 策協議、解決する仕組み	特記事項なし
9	現場作業時の実施 および運用	計測器使用前点検表、日常点検実施、記 録と整備の実施	特記事項なし
10	緊急事態の準備お よび対応	シェイクアウト訓練の実施	特記事項なし
11	文書及び記録の 作成・管理	サーバー保管	特記事項なし
12	取組状況の確認 および評価	進捗状況確認と評価、内容を環境経営レ ポートに記録	特記事項なし
13	代表者による全体 の評価と見直し	環境管理責任者からの報告を受け、代表 者として全体を評価し、見直しを指示し ている	特記事項なし

16. 代表者による全体評価

現在は誰しものが大きな変化の中にある。

俯瞰すれば冷戦後30年間続いてきたデフレプレッシャーの低減。国内に視点を移せば人口減少に労働力不足。直近数年はサプライチェーンの大混乱に大幅な円安進行。

賃金上昇の局面に重なった原燃料の価格高騰。やもすれば価格転嫁も叶わぬことすら警戒される中に生き残り方を模索している。価格アップに限界があれば、マージンの確保と賃金アップに見合う生産性向上は必須。労働生産性の向上しか道はない。

地球温暖化は深刻さが増すばかり。パリ協定1.5°Cを上回る気温上昇。コペルニクス気候変動サービス（C3S）は、12ヶ月連続で平均気温が記録更新、観測史上最高と発表した。国際労働機関（ILO）は、2030年には猛暑で8,000万人分の労働力を損失すると言う。大規模山火事でアメリカの火災保険は機能不全に陥った。そう言えば最近、自宅付近の山林が一晩中燃えてたっけ。あ…そうだ、去年サンマ食べてなかった。漁獲量はワースト3位、過去最少に設定した漁獲枠すらを下回ったそうだ。

変種変量変流に耐性を持つ工場、広域災害の準備として意味を持たせた在庫、多能工化推進のためのメンバ支援と教育にデジタルリテラシーの獲得とDX。

課題山積の中でのEA21、SDGs。生き残り方、勝ち筋探索の中にどう位置付けようか、労働生産性のどこに接点を持たせようかと考える。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり